



知識とアイデアで ユーザ視点の 医薬品を創生する ものづくりの達人

株式会社モリモト医薬

<http://www.morimoto-iyaku.jp/>

関西
20

Company Profile

株式会社モリモト医薬

住 所／(本社)
〒565-0843
吹田市千里山松が丘1-25
(テストセンター・製造所)
〒554-0052
大阪市此花区常吉1-1-60

創 業／平成17年
設 立／平成17年
資本金／3,500万円
従業員／10名(国内のみ)
T E L／06-6380-8526
F A X／06-6380-8526

■主な事業内容

新剤形医薬品の開発・ライセン
ス、医薬品製造機器製造販売、
中国・韓国医薬コンサルティング・
ツアー等の企画アレンジ

■主な取引先

製薬会社、製薬機器メーカー、海
外医薬品業界関連企業



当社のセールスポイント

製剤技術の専門家集団が
日本初の「創剤ベンチャー」を
目指しています。



代表取締役社長
盛本 修司さん

国内拠点は10数名と少なながらも、医薬品業界でのキャリアを持つ専門家が集合。これまで製剤装置プロセスの開発で基盤を築くと同時に、患者に使い勝手のよい新剤形医薬品の分野で開拓研究を行ってきました。創業ベンチャーは多数あれど、当社のような創剤ベンチャーはなかなかありません。社内のノウハウを融合させて、アイデアの事業化を図ります。



患者にやさしい新剤形医薬品

製薬会社で 新薬の開発 製剤プロセスを研究

医薬品の開発には二つの側面がある。化合物から薬物創生までの「創薬」と、服用する薬剤の処方・剤形及び製造プロセスを開発する「製剤」。盛本社長は製薬会社の研究所で18年間、この製剤の分野で新製品の処方設計から工業化研究に尽力し、数々の大型新薬の一端を担ってきた。

その後、中国駐在を経て独立し、モリモト医薬を設立。現在は製剤装置の開発を手掛ける一方、日本の医薬品企業の中国進出を支えるコンサルティング事業を展開している。取り扱いの難しい粉末状医薬品を安定的に高速充填し、品質を完全に保証する装置「Mオーガー」も同社製品である。従業員数は海外約20名、日本は約10名と少数ながらも、製薬会社出身のエンジニア、研究者、薬学博士ら専門性を備えた精鋭がそろっている。

患者が服用しやすい バリアフリーの新剤形医薬品

近年は新剤形医薬品の開発にシフト。新剤形とは、通常の錠剤や顆粒剤等ではなく、液体カプセル、フィルム剤、ゼリー剤といった新しい形状の医薬品である。薬効はそのままに患者の服用しやすさを追求。医薬品は特許が切れると、安価なジェネリック品が出回るため、売上は落ちるのが通常。しかし、なかには新剤形に切り替えたことで倍以上に伸びている製品もあるという。特許制度も昨年、投与に関する発明を認めるようにならなってきた。

生命に関わる医薬品は百万に二個の不良品も許されない。しかし、安定した生産は容易ではないため、製剤設計から装置の開発、装置導入後のサポートまで同社が行う。創業に関わる企業は数あるが、同社のような製剤分野のベンチャー企業は日本で唯一。医薬品業界においては、大型医薬品の特許がいっせいに切れ、各メーカーの収益に影響を及ぼすといわれる「201

中国、韓国、アメリカにも進出

0年問題」があり、同社の事業は業界の将来を変える可能性を秘めている。

既に新剤形医薬品が大手企業で採用決定。さらに、東南アジアにおける新製剤装置の販売代理を同社が担当。米国、韓国での法人設立、米国の治験支援企業との提携など、世界を股にかけた活躍に目を見張る。

「ひとつのテーマについて特許等調査を徹底して行い、新規開発するという業務を長年続けてきましたから、多くのアイデアが頭にあります。これからそのひとつひとつを製品にしていきたい。ワールドワイドなビジネスで発揮される手腕に期待したい。



全品品質を完全に保証する
高速充填秤量システム